

第三十五回花と緑新潟県俳句大会成績

日時 令和七年七月二十日

場所 朱鷺メッセ

山田真砂年特選

雪解靄村の真中に瞽女の宿

長岡 関矢 紀静

雪形や委託に決めし田を見やる

上越 大島 小春

老いるとは父に似ること秋深む

三条 丸山 修

井上弘美特選

地言葉の人に連なる里桜

新潟 長谷川 みきこ

鎌を研ぐ匂ひどこかに風光る

長岡 下條 春秋

湯も水もひとつの蛇口二月尽

新潟 土屋 瞳子

上田日差し特選

土筆野の風にならむと父逝けり

長岡 木曾 武子

柱時計は家の中心昭和の日

新潟 関口 道代

雁帰る失ひしもの無きやうに

新潟 土屋 瞳子

片山由美子特選

てきぱきと勢子の差配や牛角力

新潟 村山 靖子

夕暮の風ざわざわと座禅草

埼玉県 伊藤 恭子

蠅虎小さく跳んで逃げもせず

東京都 大谷のり子

菅野孝夫特選

彼の世よりうかところぼれて昼寝覚

長岡 神山 リエ

幸せの熱源は母山笑ふ

長岡 宮 京子

春愁や厨に蓋の開かぬ瓶

新潟 樋熊 節子

小島健特選

余命告知外れ七年青き踏む

長岡 神山 リエ

思ひ出は笑ひに変へて昭和の日

新潟 高野 修子

補聴器を新らしくして子供の日

新潟 畠野 旬子

しなだしん特選

木洩れ日にまぎれあけびの花の色

三条 今井 慶子

借り物の長ぐつ重し溝さらへ

南魚沼 秋山 保子

野遊びの果てに立寄る母の家

新潟 関口 道代

中原道夫特選

ふらここやたとへば空の数へかた
老いるとは父に似ること秋深む
鮎を剥ぐ竿のしなりや瀬音より

山口啓介特選

全村といへど六軒初燕
知らぬ人そそくさと来て田を打てり
集落にたつたひとつの鯉のぼり

井口 光雄特選

合掌を解けば流灯はるかなり
下船して走り来る子の夏帽子
青空をすり抜け実梅落ちにけり

矢澤彦太郎特選

手をつなぐ上皇さまに囁れり
老木のやうな父の背山開き
日溜りは母のぬくもり花は葉に

赤塚五行特選

さざなみは風のささやき湖五月
この車庫が一番好きと燕来る
その下を鯉の潜るや花筏

井澤秀峰特選

昭和の日母在りし日の塩むすび
職人の荒れし指先桜餅
甚平や出世には縁の無き父子

石黒正勝特選

万緑や赤子が握る生命線
プラタナス五月の風の透き通り
青時雨母の形見の鼓の音

川崎陽子特選

万緑や赤子が握る生命線
うららかや母の加はる糸電話
老妻のかすかな寢息遠蛙

新潟 渡邊 久美

三条 丸山 修

新潟 伊野 智彦

上越 山本 信義

阿賀野 小林 正男

新潟 籾本 春美

長岡 木曾 武子

佐渡 絹澤 裕子

香川県 涼野 海音

燕 金子加津久

南魚沼 井口 光雄

新潟 小出 利恵

新潟 澤田 れい

新潟 鈴木けい子

南魚沼 片桐さと子

佐渡 金子よし子

燕 金子加津久

柏崎 水野 宗子

魚沼 大島いと女

三条 小林 悦子

新潟 鶴巻 悦子

魚沼 大島いと女

見附 村田 恭子

燕 矢澤彦太郎

熊谷國男特選

初蝶に力をもらふ試歩の径

昭和の日母在りし日の塩むすび

看取り終へきのふと違ふさくらかな

寺尾亜真李特選

母の日の母に着せたり履かせたり

草木薙ぐ地球の怒り出水川

数式の割り切れぬとも涼しかり

春川暖慕特選

水中花化石のやうな嘘ついて

ふらここやたとへば空の数へ方

夏めくや嫁の野良着はサイケ調

宮京子特選

春の雪いつしか妻と仲直り

人に会ふまで葉桜の径歩きけり

木の瘤に父のまぼろし榛の花

宮沢房良特選

合掌を解けば流灯はるかなり

春虹のどの色ならむランドセル

花林檎北信五岳近く見て

山口あつ子特選

下船して走り来る子の夏帽子

余花の雨書斎はいつも手暗がり

看取り終へきのふと違ふさくらかな

山之内喜七特選

野遊びの果てに立寄る母の家

スキップに始まる助走五月来る

けんけんば勿忘草を踏まぬやう

若井新一特選

スキップに始まる助走五月来る

黒堀の花街てふ路地糸柳

なにをしに二階の己れはたた神

新潟 本間 安彦

佐渡 金子よし子

新潟 土屋 瞳子

佐渡 高埜 健蔵

長岡 神山 リエ

柏崎 水野 宗子

神奈川 伊藤はる子

新潟 渡邊 久美

聖籠町 天尾壯一郎

新潟 大井 則夫

妙高 古川よし秋

燕 矢澤彦太郎

長岡 木曾 武子

長岡 藤沢 潮子

南魚沼 小池 旦子

佐渡 絹澤 裕子

柏崎 水野 宗子

新潟 土屋 瞳子

新潟 関口 道代

魚沼 大島いと女

新潟 鈴木けい子

魚沼 大島いと女

東京都 横山 千砂

佐渡 神蔵ひさし

渡辺徳治特選

鬱といふ穴から覗く小さき春
老いてなほ未知の老あり白芙蓉
一本のバラに罪あり佐渡へ嫁す

新潟 和田 雅子
村上 佐藤さき子
聖籠町 天尾壯一郎

高得点

一位 播鉢の大きすぎたる木の芽和へ
二位 一枚の空千枚の代田かな
三位 山みちに海のほひや良寛忌
四位 老い支度ゆつくりやれと亀の鳴く
五位 まつすぐに並んだつもり一年生
六位 万緑や赤子が握る生命線
七位 雪解靄村の真中に瞽女の宿
八位 母の日の母に着せたり履かせたり
九位 木の瘤に父のまぼろし榛の花
一〇位 春愁や厨に蓋の開かぬ瓶
一位 植田風吸うてその夜を青くゐる
二位 白髪 of ジャズバンド来て島は夏
三位 野遊びの果てに立寄る母の家
四位 スキップに始まる助走五月来る
五位 下船して走り来る子の夏帽子
一位 六位 ふらここやたとへば空の数へ方
一位 七位 看取り終へきのふと違ふさくらかな
一位 八位 夕暮の風ざわざわと座禅草
一位 九位 うららかや母の加はる糸電話
二〇位 余命告知外れ七年青き踏む
二一位 彼の世よりうかとこぼれて昼寝覚
二二位 この車庫が一番好きと燕来る
二三位 手をつなぐ上皇さまに囁れり
二四位 余花の雨書斎はいつも手暗がり
二五位 鎌を研ぐ匂ひどこかに風光る

新潟 土屋 瞳子
佐渡 羽生 雅春
長岡 関矢 紀静
長岡 立石 幸子
新潟 小林 風子
魚沼 大島いと女
長岡 関矢 紀静
佐渡 高埜 健蔵
燕 矢澤彦太郎
新潟 樋熊 節子
新潟 山口 啓介
新潟 渡辺 徳治
新潟 関口 道代
魚沼 大島いと女
佐渡 絹澤 裕子
新潟 渡邊 久美
新潟 土屋 瞳子
埼玉県 伊藤 恭子
見附 村田 恭子
長岡 神山 リエ
長岡 神山 リエ
新潟 鈴木けい子
燕 金子加津久
柏崎 水野 宗子
長岡 下條 春秋

